

学校関係者評価報告書（令和7年度）

令和7年度の学校関係者評価委員会を開催し、自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

評価実施日：令和7年11月19日（水）

学校関係者評価委員：企業委員2名、卒業生委員2名、地域住民委員1名（計5名）

評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
(1)教育理念・目標 教育理念や育成人材像は、しっかりと定められている。	企業が求める人材像や入学生のニーズは、時代とともに変化している。今後も、その変化やニーズに対応する教育に取り組んでいく。
(2)学校運営 全体的によく取り組んでおり、問題はない。	各部署の情報システム化は進んできたが、今後はデータの共有に加え、運用面の改善も進め、さらなる業務効率化を図っていく。
(3)教育活動 各種委員会の設置により、毎年、カリキュラムの検討・見直しや業界ニーズの分析・検討が行われている。	業務においては、これまで以上にコミュニケーション能力が求められるようになってきている。技術系資格の取得だけでなく、コミュニケーション能力を客観的に測定できる資格の取得に取り組むのも有効ではないか。（改善案：導入に向けた取り組みを検討する）
(4)学修成果 資格取得実績・就職実績ともに高い成果を上げており、退学率の低減についても評価できる。	依然として、卒業後の社会的な活躍やキャリア形成への効果が十分に把握できていない状況であるため、卒業生とコンタクトを取る方法を検討する。
(5)学生支援 学生相談や就職サポートなどの体制が整備されており、経済的支援も含めて、十分な学生支援が行われている。	卒業生支援の一環として令和7年2月に同窓会を開催し、多くの卒業生が参加して交流を深めることができた。今後も同窓会をさらに充実させ、発展させていく。
(6)教育環境 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう計画的に整備されており、適切に運営されている。	今後も優先順位を考慮し、施設・設備の改修工事を進めていく。
(7)学生の受入れ募集 学生募集活動は適正に行われており、特に問題はない。	引き続き適正な学生募集活動を行うとともに、校名の認知度を一層高めていく。
(8)財務 健全な財務状態が維持されており、特に問題はない。	18歳人口の減少や大学進学者の増加による影響が懸念されるが、今後も安定した財務基盤を維持していく。

(9) 法令等の遵守 きちんと取り組んでおり、特に問題はない。	
(10) 社会貢献・地域貢献 きちんと取り組んでおり、特に問題はない。	生成 AI の活用能力が求められるようになって いることから、社会貢献の一環として、企業や 一般向けに生成 AI 活用講座の実施を検討しては どうか。(改善案：講座開講を検討する)

以上